

2区は自民・村上さん



8選を果たし、バンザイをして喜ぶ村上誠一郎さん(31日午前0時10分、今治市内の事務所で)

与党への強い逆風をはねのけ、村上さんが8選を確実にすると、今治市の事務所待ち構えていた支持者らは大きな拍手で喜びにひたつた。間もなく現れた村上さんは、日焼けした顔をほころばせ、陣営幹部らと並んで声高らかにバンザイ。「自民党が野党となつてしまった以上、政権奪還を目指して精いっぱい頑張っていきたい」と言葉に力を込め、一層大きな拍手を浴びていた。

人へと熱心に呼びかけた。瀬戸内の島々から、内子町や伊予市まで、広い選挙区を隅々まで回り、他候補からの「普段は地元にはほとんど戻らず、顔が見えない」との批判を打ち消した。村上さんは「逆風のせいでも、これまでの選挙で最も難しい戦いになった」と選挙戦を振り返り、「無責任なマニフェストを掲げた民主党から日本を救う。『日本丸』が沈没に落ちないよう、大きな体で阻止していく」と決意を述べた。

衆院選

民主が1議席を奪い「保守王国」に風穴を開ける――。政権選択を最大の焦点に30日に投票された衆院選で、県内4小選挙区では3区で民主新人の白石洋一さん(46)が初当選を決めて、1996年の小選挙区制導入後、民主党の初勝利を挙げ、自民の県内議席独占に終止符を打った。自民は、1区で前議員塩崎恭久さん(58)が民主新人の永江孝子さん(49)との激戦を制して5選を決め、県都の議席を死守。2区の前議員村上誠一郎さん(57)が8選を、4区の前議員山本公一さん(61)が6選をそれぞれ果たし、全国的に自民が総崩れとなる中、保守王国の底力を見せた。投票率は70・91%で前回を5・10ポイント上回った。